

ひょうごらくのうメモ

6

2023JUN



表紙:『牛の親子♡』洲本市 中川 拓哉さん
第40回らくのうひょうごフェスティバル絵画コンクール応募作品より

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

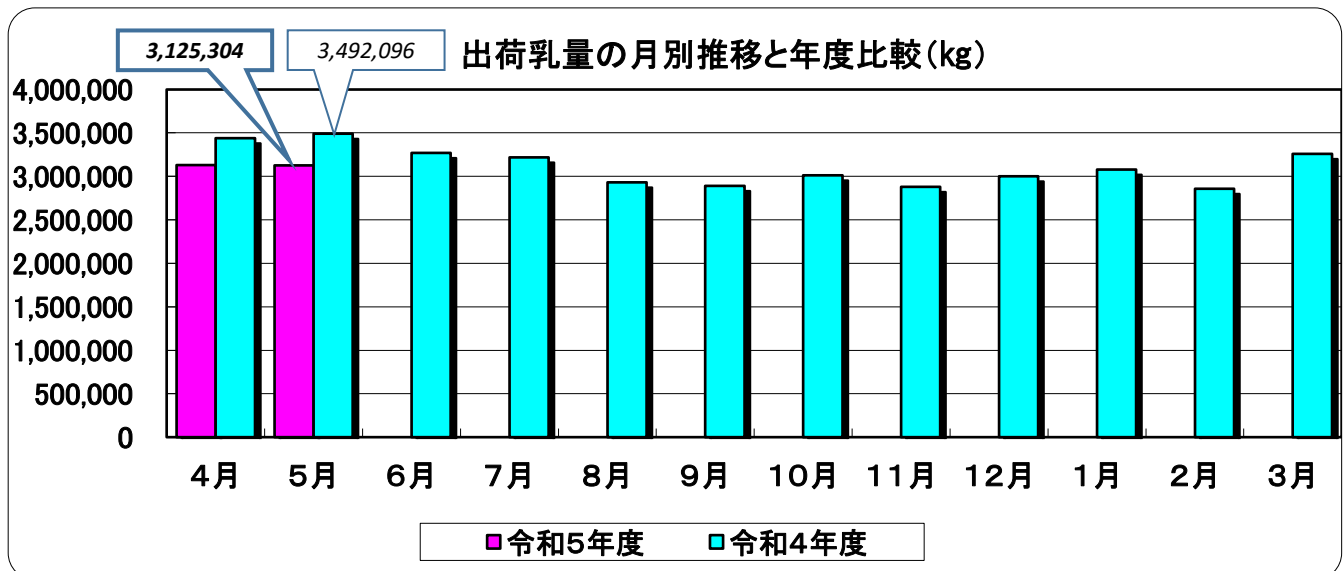
生乳生産統計

1. 全国(令和5年4月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	5年	4月	628.0	95.6
令和	5年	5月		
令和	5年	6月		
令和	5年	7月		
令和	5年	8月		
令和	5年	9月		
令和	5年	10月		
令和	5年	11月		
令和	5年	12月		
令和	6年	1月		
令和	6年	2月		
令和	6年	3月		
令和	5年度	累計	628.0	95.6

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 5年5月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	
阪神地区	570,451	88.8	1,139,805	89.0	20
播州地区	403,293	69.4	816,008	71.3	17
丹但地区	310,911	89.2	626,791	92.0	14
淡路地区	1,840,649	95.8	3,673,769	96.1	83
合 計	3,125,304	89.5	6,256,373	90.3	134



理事会報告

令和5年6月5日(月)、第2回理事会をWEB会議方式により理事5名、監事2名の出席のもと開催した。組合長挨拶の後、令和5年度生乳計画生産進捗状況、令和4年度加工原料乳生産者補給金の支払いについて、を報告し、次の事項について協議した。

- ①令和4年度事業報告並びに収支決算について
業務報告書に基づき、事業報告、収支決算を承認した。
- ②令和5年度事業計画並びに収支予算について
事業計画書案に基づき各事業、収支予算案を承認した。
- ③役員候補者の選任について
役員候補者推薦会議から提出された推薦書に基づき各候補者の選任を承認した。
- ④第8回通常総会の提出議案について
6月29日に開催する通常総会の提出議案の決定を行った。
(第1号議案から7号議案まで)
- ⑤総会運営について
通常開催に戻し、各来賓を招待することのほか、役割分担、会場設営等協議決定した。
- ⑥借入金の最高限度額及び余裕金の運用について
令和5年度借入金の最高限度額及び余裕金の運用を協議決定した。

その他の事項として、次年度に向けての精液受精卵等の手数料改定について話し合った。

◆ 主な行事予定 ◆

<p>10日 令和5年度牛群審査・体型調査(14日)</p> <p>6日 全酪連ブロック別会長・組合長会議 (新大阪ワシントンホテルプラザ)</p> <p>4日 近畿生乳販連・理事会(WEB)</p> <p>3日 職員会議(WEB)</p> <p>3日 全酪連大阪管内役員候補者等選考会議(WEB)</p>	<p>7月</p>	<p>29日 第8回通常総会(西神文化センター4階大ホール) 第3回理事会</p> <p>22日 全国酪農協会・創立75周年記念式典・通常総会 理事会(明治記念館)</p> <p>21日 内部管理職会議</p> <p>20日 阪神・播州地区懇談会(小野商工会議所)</p>	<p>6月</p> <p>19日 丹但地区懇談会(青垣住民センター)</p>
---	-----------	--	--

技術情報

暑熱が牛に及ぼす影響(例)

牛は気温22℃を超える(※高湿度時)と暑熱ストレスを感じ始めます。暑熱を受けるとあらゆる機能が低下し、生産性の低下を招きます。

食欲減退による栄養不足

人間同様、暑熱の影響で食欲が減退します。そのため、栄養不足に陥りやすくなります。牛は栄養不足になると、繁殖機能→乳生産→自身の発育→生命維持の順であらゆる機能を低下させて、自身の生命を守ろうとします。

免疫機能の低下

暑熱・高温時は免疫機能が低下するため、疾病のリスクが高まります。併せて、酸化ストレスにも晒されます。また、酸化ストレスや暑熱ストレスの影響を受け、肝機能低下を招く可能性もあります。

体温を下げるためにエネルギー消費

暑熱で上がった体温を下げるため、呼吸数を増加させたり、体表面の血流を増幅させたりします。それに伴い、エネルギー消費量も増加します。同時に、汗や呼吸から水分と共にミネラルが消失されます。

ルーメン内環境の変化

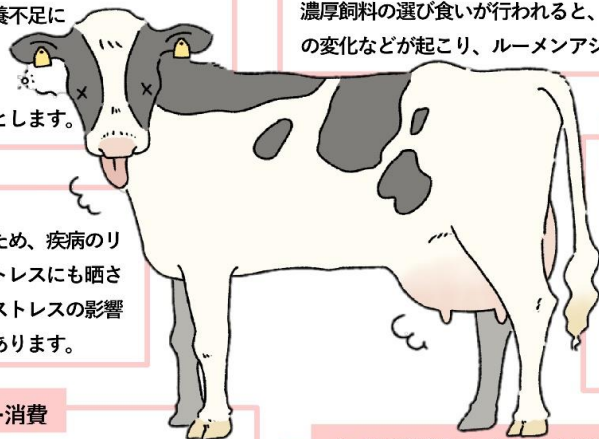
暑熱時、ルーメン内で熱生産量の多い粗飼料より熱生産量の少ない濃厚飼料を選択的に採食する傾向が強くなります。濃厚飼料の選び食いが行われると、ルーメン内ではpHの低下や微生物層の変化などが起こり、ルーメンアシドーシス→乳脂肪低下へ繋がります。

繁殖への影響

高温によって、脳下垂体前葉は機能減退を起こし、ホルモン分泌量が低下するため、繁殖機能が低下すると言われています。また、体温上昇に伴い体内で卵子や精子の活力低下に繋がります。

起立時間増加による体力消耗

暑熱時は風にあたる面積を増やすため、起立時間が増加すると言われています。休息時間が減少すると、体力の消耗や蹄や肢への負担増加に留まらず、乳生産に直結します。(※乳生産効率の高い横臥時間が減るため。)



暑熱時の対策(例)

牛はドラム缶並の湯たんぽとも呼べるルーメンを常に抱えて生活しています。そんな牛をさまざまな面からフォローして、暑い夏を乗り切りましょう！

ひと口でも多く食う飼料給与を！

暑熱時、エサをひと口でも多く食べてもらいたいですね。

- ・ガサが少ない粗飼料の割合を増やす
 - ・飼槽内部の二次発酵を防ぐため、給与回数を増やす
 - ・夜、気温が低下する時間帯に採食できる環境作り など
- ひと工夫がもうひと口を進めます。

採食量が減ってエネルギーが足りない、粗飼料不足で乳脂肪が減った牛には「デイリーパル98[®]」など油脂製品の給与も効果的です。

バテた牛に労りのミネラル補給！

体温を下げるために、エネルギーやビタミンだけでなくミネラルも消失します。

高泌乳牛や移動・預託戻り、分娩後などの疲れた牛には「アクアチャージ」で、水分とミネラルをチャージしましょう。

扇風機や直接体を冷やす製品の活用！

言わずもがな、扇風機での送風や牛の体表を水で濡らす事は、体温を下げるうえでとても効果的です。

置き型から吊るし式まで幅広く取りそろえた「畜産用換気扇」や、濡らして牛に着せる「ベコジャケット」などの暑熱対策製品を、農場に合わせて選択・ご検討ください！

ルーメン環境を保ち微生物を守ろう！

暑熱時には反芻回数が減り、ルーメン内にヨダレが流れてくる量も減ります。濃厚飼料を選び食いと酸の生成が多くなり、ルーメン内が更に酸性へと偏ります。「ゼンラク重曹[®]」を給与してルーメン環境を整えましょう。濃厚飼料給与前に粗飼料を食べ、ルーメンの土台(ルーメンマット)を作る、1回の濃厚飼料給与量を調整することも、急激なルーメン発酵を抑える手段の一つです。

体温を下げるひと工夫！

暑熱対策や肝機能維持が期待できるナイアシンの給与は、夏を乗り切る手助けになります。

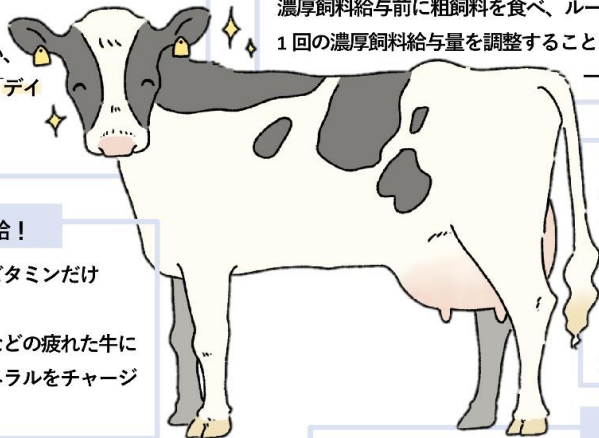
「ナイアクールZ」は直接腸から吸収できるよう、ルーメンをバイパスする特殊加工を施しています。

ビタミン給与でトラブル回避！

体の機能性維持にはビタミンが必須です。暑熱時はビタミンの要求量も上がるので、通常時よりも給与量を増やしましょう。

産後や高泌乳期・下牧後など、特にビタミンを増やしたい！という時には「すこやかカプセル」がおすすめです。

参考資料：NRC 飼料標準(2021年第7版)、日本飼料標準・乳牛(2017年版)
日産合成工業株式会社 酪農・豆知識(ヒート・ストレス)



参考情報

淡路家畜市場情報

令和5年5月第2金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	6	187,367	226,600	156,200			53
前回	14	124,143		212,300	9,900			57	63,224	50.9%	
前年	14	150,857		243,100	89,100			57	36,510	24.2%	
オス	今回	8	184,113	227,700	126,500			56			
	前回	10	159,940	198,000	123,200			58	24,173	15.1%	
	前年	11	239,900	290,400	146,300			57	-55,787	-23.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	4	39,050	46,200	29,700			55			
	前回	1	55,000	55,000	55,000			54	-15,950	-29.0%	
	前年	5	65,560	100,100	34,100			54	-26,510	-40.4%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和5年4月第4金曜日・前年は令和4年5月第2金曜日

令和5年5月第4金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	12	136,125	177,100	49,500			56
前回	6	187,367		226,600	156,200			53	-51,242	-27.3%	
前年	11	157,600		255,200	90,200			57	-21,475	-13.6%	
オス	今回	12	159,225	240,900	27,500			60			
	前回	8	184,113	227,700	126,500			56	-24,888	-13.5%	
	前年	13	204,854	268,400	79,200			57	-45,629	-22.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	4	37,400	60,500	13,200			56			
	前回	4	39,050	46,200	29,700			55	-1,650	-4.2%	
	前年	3	90,933	110,000	70,400			58	-53,533	-58.9%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和5年5月第2金曜日・前年は令和4年5月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
4	1	60,274	73	86,602	118	96,842	26	84,852	7,917
	2	78,917	74	84,541	76	82,622	27	99,587	7,368
	3	89,551	78	93,886	134	84,111	28	104,430	8,775
	4	96,634	73	98,901	78	93,317	18	101,788	7,440
	5	112,322	54	111,763	78	99,245	18	123,317	6,324
	6	122,177	71	111,003	68	119,460	10	117,640	7,227
	7	95,057	53	104,775	56	85,663	8	74,406	7,599
	8	45,824	76	66,689	75	30,158	12	31,436	7,762
	9	25,075	83	22,432	102	17,417	12	15,575	6,428
	10	16,210	91	21,039	87	9,477	26	20,611	6,131
	11	18,362	78	20,287	97	8,250	22	26,558	6,750
	12	14,582	74	21,227	91	10,159	17	22,961	5,900
5	1	15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
	2	15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
	3	32,237	49	30,240	53	10,633	12	51,012	6,592
	4	34,608	39	43,205	90	47,594	15	58,915	5,810
	5	65,572	36	67,518	79	50,008	13	69,390	6,043
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
4	1	156,690	554	134,664	365	200,007	194	150,928	14,421
	2	154,568	511	135,321	311	173,563	172	163,424	13,270
	3	173,935	563	159,393	369	183,812	206	175,588	15,423
	4	181,317	559	179,829	287	212,539	189	178,697	13,776
	5	209,912	449	203,328	263	235,953	151	190,858	12,825
	6	238,145	353	221,190	368	220,208	143	187,300	12,975
	7	204,151	331	188,185	287	226,511	112	157,593	13,177
	8	156,707	560	151,410	271	196,618	121	100,500	15,237
	9	124,209	554	110,885	393	148,069	153	88,395	15,808
	10	129,255	531	106,490	278	161,723	143	91,131	15,097
	11	114,617	706	98,855	296	169,113	153	93,840	16,644
	12	114,802	588	106,584	332	166,884	181	86,297	15,782
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3	123,802	587	117,235	331	158,154	197	102,795	15,544
	4	157,892	531	138,296	315	195,491	203	111,958	14,394
	5	188,398	436	177,927	221	219,636	127	123,340	14,179
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和5年5月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（乳・乳系・他）				初妊牛（乳・乳系・他）				経産牛（乳・乳系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
豊富	5/12					262	770	242	446	4	395	300	355
十勝	5/15					516	1,183	220	503	68	847	110	416
十勝	5/18	593	377	4	239								
北海道	5/19	60	256	14	168	99	766	142	444	10	363	229	305
根室	5/22					458	840	286	483				
釧路	5/23					262	733	220	435				
北見	5/24					263	757	66	398	11	480	138	233
十勝	5/30					468	1,022	222	464	90	639	66	346
合計	8回	653	377	4	232	2,328	1,183	66	463	183	847	66	363
前年同月成績	9回	850	502	1	220	2,352	1,176	110	535	235	857	44	308
前月合計成績	10回	1,450	449	2	266	2,728	1,113	11	502	233	814	110	296

ホクレン乳牛市場開催日程

6月2日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊富) 育成	7月7日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊富)
6月8日(木)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊富)	7月10日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更)
6月9日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間) 育成	7月11日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛)
6月12日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更)	7月12日(水)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更) 育成
6月15日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更) 育成	7月14日(金)	ホクレン北海道家畜市場 (安平)
6月16日(金)	ホクレン北海道家畜市場 (安平)	7月19日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間)
6月21日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛)	7月20日(木)	ホクレン根室地区家畜市場 (中標津)
6月22日(木)	ホクレン根室地区家畜市場 (中標津)	7月28日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊富) 育成
6月23日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間)		
6月26日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛) 育成		

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所 (問合せ先)

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和5年6月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横這い	札幌管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で98.0%、苫小牧管内月計で93.5%、累計で93.5%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月中旬分娩が中心となります。夏分娩中心の取引となることを受け、全体的に価格は軟調に推移するものと見込まれますが、雌雄選別腹におきましては、資源が少ない中で引き合いがかなり強くなっている状況です。経産牛に関しましては、管内優良農家の規模縮小に伴い、高血統牛が出品され経産牛相場が高くなり推移していましたが、出品されなくなることにより管内の経産牛価格はやや弱含みとなると予想されます。出品頭数は少ないですが、初妊牛・育成牛ともに良質な牛が揃う地域ですので、相場が落ち着いてくるこの時期での導入をお勧めいたします。
	初妊牛	4.3~5.3	やや弱含み	
	経産牛	3.0~4.0	弱含み	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.0~2.5	弱含み	根釧管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で94.9%、累計で94.5%、中標津管内月計で95.8%、累計で95.2%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬分娩~9月中旬分娩が中心となります。また5月の管内乳牛市場が弱含みで推移したこと、腹先購買価格もやや弱含みとなり見込まれます。F1腹に比べ雌雄選別腹で中クラス程度の牛の引き合いが強くなっていることから、腹内容や上物・スソ物の価格差が開いている状況です。市場価格全体が軟調に推移することにより、販売予定の牛を自家保留に変更する動きもあると予想されます。
	初妊牛	4.3~5.3	弱含み	
	経産牛	3.8~4.8	やや弱含み	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横這い	帯広管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で94.9%、累計で95.0%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月中旬分娩が中心となります。初妊牛に関しましては、夏分娩中心の出回りになっており、道内、都府県問わず需要が高くなることにより、軟調に推移するものと考えられます。腹別では、搾乳用素牛の頭数減少を見込んで雌雄選別腹の需要が高くなっております。経産牛にしましては、高泌乳牛などの即戦力となる経産牛については高値で取引されるものの、全体的には軟調に推移しており、今後は弱含みとなると見込まれます。育成牛にしましては、今後の資源減少を見越して、需要が高まっているため、初妊牛価格が弱含みで推移する中でも堅調に取引されると見込まれます。
	初妊牛	4.5~5.5	やや弱含み	
	経産牛	4.0~5.0	やや弱含み	
道北管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横這い	道北管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で96.7%、累計で95.5%、北見管内月計で94.1%、累計で93.2%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月中旬分娩となり、資源頭数が前年並みにあり、夏分娩牛がメインとなるため相場は軟調な動きを見せると予想されます。腹別としましては、F1腹については資源が潤沢にありますが、雌雄選別腹は例年より資源が少ない中、需要が高まっていることから、引き合いが強くなっております。経産牛につきましては、管内の離農が落ち着きを見せたことにより、資源頭数が減少しているため横這いで推移すると予想されます。
	初妊牛	4.3~5.3	やや弱含み	
	経産牛	2.8~3.8	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横這い	道内の5月中旬までの生乳生産量前年比は95.4%、累計で95.0%の実績となっております。道内では、放牧も始まり、1番卓の収穫時期となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、夏分娩中心となるため道内外での需要が少なく全体的に軟調傾向が続くと見込まれます。都府県からの一部規模拡大による導入計画はあるものの、短期的には大きな相場変動は考えづらい状況です。そのような中でも資源確保が難しくなっている雌雄選別腹は、需要が高まっていることから引き合いが強くなっています。また直近では雌牛牛の引き合いが強くなっており2年後を見据えた導入が始まっているものと考えます。弊会としましては引き続き、道内資源状況を確認しながら、ご希望にあつた搾乳用素牛を供給していきたいと思っておりますので、導入計画がございましたらご注文宜しくお問い合わせいたします。
	初妊牛	4.5~5.5	やや弱含み	
	経産牛	3.5~4.5	横這い	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の底先選苗購買による予想相場です。

底先選苗購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
☎011-241-0765

《各事務所電話番号》
 釧路事務所 ☎(0154)52-1232
 根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
 帯広事務所 ☎(0155)37-6051
 道北事務所 ☎(01654)2-2368

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力をお願い厚くお礼申し上げます。
 乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
 担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
 また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

令和5年6月9日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

米国西海岸における北米西岸港湾労組(ILWU)と雇用主団体(PMA)の労使交渉はターミナル施設の自動化について合意しましたが、賃金と年金給付に関する交渉は難航しています。6月に入り北米西岸港湾労組(ILWU)が各港で抗議活動を始め、6月上旬にターミナルの一部を閉鎖する措置を取りました。現在、各港では通常稼働となっていますが、労使交渉が長引くにつれ再び抗議活動が発生する可能性もあるため、今後も経過には注視が必要です。

ビートパルプ

【米国】

22-23年産の製糖作業及びビートパルプの生産は終了しています。23-24年産のビートパルプの生産については現在、播種作業が進められています。産地では冷涼な気候により播種作業の進捗が遅れていましたが、5月末に天候が回復したため、例年通りに播種が終了した地域も見られています。23-24年産のビートパルプの市場については、シカゴ相場におけるトウモロコシや大豆相場の下落を受け、米国内では需要を見極めている状況のため、相場変動には注視が必要です。

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるコロンビアベースンでは、春先の冷涼な気候により例年より生育が2~3週間遅れましたが、5月中旬から南部で23年産1番刈の収穫作業が開始されています。南部では一部で降雨被害があったものの、概ね順調に進捗し、現在では収穫作業を終えています。収穫されたアルファルファの一部では成分の高い高級品も発生しています。

コロンビアベースン北部では1番刈の収穫作業が中盤に差し掛かっています。南部に比べて降雨被害が出ていますが、その後は天候も暖かく乾燥した気候で収穫作業が進行しています。

輸出向けでは中東向けに少量のアルファルファの買付を行った輸出業者はいるもの

の、22年産の産地相場が歴史的な高値となった影響で、多くの輸出業者は繰り越し在庫を抱えており、産地相場を慎重に見極める動きが続いています。そのため、例年よりも遅い買付進捗になる見込みです。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは現在3番刈の収穫が行われており、圃場によっては4番刈の収穫が開始されています。産地では35℃を超える気温のため、上級品の発生は減少しており、中級品中心の発生となっています。年明け以降、米国乳価が軟化している影響や輸出向けの需要が低調なことから、産地相場は前年同時期と比べ軟化傾向にあります。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、5月15日時点でのアルファルファの作付面積は152,480エーカー（前年同期は133,598エーカー）と前年同期比114%と増加しており、過去10年間で最高水準の作付面積となっています。

米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースン及びエレンズバーグでは、温暖な気候が続き、順調に生育しています。コロンビアベースン南部では5月下旬から23年産1番刈の収穫作業が開始されています。一部の圃場で降雨がありましたが、雨当たり被害は軽微なものとなっており、収穫作業は今後本格化する見込みです。産地の多くの輸出業者は22年産の旧穀在庫を抱えており、需要が低迷することが予想されるため、23年産の作付面積については前年比5～10%程度減少すると見込まれています。

スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、早い圃場で5月下旬より23年産の収穫が順次開始され、今後収穫が本格化する見込みです。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、6月1日時点での作付面積は24,704エーカー（前年同期は42,524エーカー）となっており、前年同時期比58%となっています。多くの輸出業者は22年産の繰り越し在庫を抱えているため、慎重な買付になることが予想されます。

また、産地の水源であるネバダ州ミード湖の水位は4月上旬まで過去最低水準に落ち込んでいましたが、生産者の節水や雪解け水により水位は上昇しているため、懸念されていた水不足の心配はありません。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、1 番刈の収穫は終盤を迎えており、圃場によっては6月上旬より2番刈の収穫が開始されています。これまで収穫された1番刈の品質は良好で葉量が多く柔らかな上級品の発生が中心となっています。一部では雑草混じりや刈遅れの品質が発生したものの、近隣の酪農家や肥育農家向けに出荷されています。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、5月15日時点でのクレイングラスの作付面積は22,170エーカー（前年同期19,131エーカー）となっており、前年同時期比116%と増加しています。



（23年産クレイングラス 6月上旬 インペリアルバレーにて撮影）

バミューダ

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレー灌漑局の発表によると、5月15日時点の作付面積は64,852エーカー（前年同期61,718エーカー）と前年同期比105%の作付面積となっています。現在、産地では多くの圃場で種子の生産を行っておりバミューダハイにおける収穫作業は7月上旬より本格化する見込みとなっています。一部の圃場でバミューダハイの生産が行なわれていますが、大半が米国内需の馬糧向けに販売されるため、種子生産が終了しバミューダハイの生産が本格化する夏場までは輸出向けの供給は限定的となる見込みです。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区では、冷涼な気候が続いていましたが、5月に入り30℃近くの乾燥した気候が続き、降雨も少なかったため、旱魃の状況となっています。クレモナ地区は非灌漑での生産となるため、今後の生育に向け降雨が

望まれています。1番刈の収穫は7月上旬頃からの開始が予想されています。

同州南部のレスブリッジ地区では、温暖な気候で5月の降水量は昨年より減少しましたが、6月に入り降雨があり、順調に生育しています。

豪州産オーツハイ

23年産の播種作業は多くの地域で順調に進みが終盤を迎えています。東豪州や南豪州の輸出業者は22年産低級品の繰越在庫を多く保有していると予想されますが、近隣の生産者や各国からの輸出需要も引き合いが増えていることから、作付面積については増加する見込みとなっています。5月の降雨量は各地で概ね例年並みとなりましたが、6月に入り乾燥が強まる予想のため生育期の降雨不足が心配されています。

また、一部の報道で中国で輸入規制がかけられていた石炭や木材といった品目の輸出が5月以降再開されており、今後の豪中間の貿易緩和については注視が必要です。

以上